

2. 都市づくりのポリシー

「暮らしとまちのビジョン」を実現するためには、都市づくりに関わるみんながどのように考えて取り組んでいけば良いか、具体的な行動や行為の基本的な考え方を「都市づくりのポリシー」として示します。

① みんなを惹きつける場所（目的地）をたくさんつくる

- ・ まちなかにはさまざまな人が集い交流しながら都市的な活動を楽しめる場所を、里山には農やみどりを活かした学習・経験やスポーツ・レジャーが楽しめる場所を、それぞれの特性にあった魅力的な場所をつくってたくさんの人を惹きつけよう！



② 目的地まで気軽に好きな方法で行ける“移動しやすさ”を用意する

- ・ 今ある交通手段を最適化・効率化していくとともに、自動運転やグリーンスローモビリティなどの技術、シェアや相乗りなどの仕組みを新たに取り入れて、住宅地でもまちなかでも誰もが移動しやすくしよう！



③ 働く・遊ぶ・食べる・買うなどさまざまなお気に入りの場所が見つけれられる環境をつくる

- ・ 「働く」「遊ぶ」「食べる」「買う」など、日々の営みの中で行われるさまざまな活動が、好きな場所で行えるような多様性・多機能性のある環境をつくって、いろんな目的の人を集めよう！



④ にぎわい・ゆとり・みどりを活かして住まいのバリエーションを増やす

- ・ 駅周辺の拠点では便利さににぎわい、住宅地ではゆとりある空間、丘陵地の近くではみどりに囲まれた自然豊かな里山環境など、地域の特徴を積極的に活かした住まいのバリエーションを増やして、いろんな“住みたい”を叶えよう！



⑤ それぞれのライフスタイル・ステージに合った住まいが気軽に選べるしくみをつくる

- ・ ひとつの場所に捉われるのではなく、ライフスタイルやライフステージなどその時の自分に合わせて住み替えができるような仕組みを整えて、みんなが“ちょうどいい住まい”を選べるようにしよう！



⑥ 道路や身近な公園など、まちのあらゆるオープンスペースを使いやすくする

- ・ 家の前の道路で遊んだり、身近な公園でキッチンカーのランチを楽しんだり、今の仕組みを見直して、みんながオープンスペースをもっと自由に使って楽しめるようにしよう！



⑦ まちの中のもったいないところをうまく使う

- ・ 公共施設や空き家など、今は十分に使われていないまちの資源を見直して、新しいアイデアや工夫で最大限の価値を引き出そう！



⑧ みんなの“やりたい”を掘り起こし、みんなで育て、実になるしくみをつくる

- ・ みんなで住まい周辺の環境に関心を向け、より良くするアイデアを考え、それを実現していく仕組みを整えて、日々の暮らしをさらに楽しく豊かなものにしよう！



⑨ 今ある“緑”を、とにかく元気になる“みどり”に仕立てなおす

- ・ 豊かな緑をこれからもみんなで育てていくために、農や生態系を学んだり、新鮮な地元野菜を食べたり、スポーツやレジャーを楽しんだりできる“みどり”に仕立てなおして、みんなのココロとカラダを元気にしよう！



⑩ どんなときもみんなが安全で安心できる環境をつくる

- ・ 災害や感染症などのリスクへの備えや、交通安全・防犯など日々の暮らしを守る取組を常に続けて、どんなときもみんなが安全で安心して暮らせるようにしよう！



⑪ みんなで協力して、まちを日々整える

- ・ 自分の土地・建物はもちろん、周辺環境も含めて適切に保つとともに、時代の変化にあわせて最適な状態にアップデートしながら、これからも快適に暮らし続けていけるまちにしよう！

